様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人　聖徳学園

１.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教育学部	学校教育課程	夜 ・通信	4	0	74	78	13	
外国語学部	外国語学科	夜 ・通信	4	0	31	35	13	
経済情報学部	経済情報学科	夜 ・通信	2	0	34	36	13	
看護学部	看護学科	夜 ・通信	0	0	85	85	13	
（備考）								

２.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/outline/pub-info.php

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人　聖徳学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページ上（学園概要）で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/outline/Officer.php

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	民間会社　取締役社長	2019.4.1～ 2023.3.31	特に財務・人事に関すること
非常勤	弁護士	2019.4.1 ～ 2023.3.31	特に労務に関すること
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人　聖徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
・本学のシラバスは、例年前年度の 1 月から各授業担当者に作成を依頼し、2 月中旬までに作成する。2 月中旬から各学部教務委員会によるシラバスチェックを実施し、必要に応じて改善の指示等を行い、3 月下旬に Web システムにて公開する。
・本学では全学共通の「シラバス作成ガイドライン」を作成し、各学部教授会で周知している。

授業計画書の公表方法	大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://unipa.shotoku.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
・単位の認定については学則第 21 条に定めている。

> 第 6 章　単位の認定、卒業認定及び学位の授与
> 第 21 条　授業科目を履修し、単位修得の認定を受けたものには所定の単位を与える。
>
> 2　授業科目の単位修得の認定は、試験成績若しくは平常の学習成績、又は両者を総合して担当教員が行う。
>
> 3　成績評価は、秀（A:100～90 点）、優（B:89～80 点）、良（C:79～70 点）、可（D:69～60 点）、不可（F:60 点未満）の 5 段階をもって表し、可以上を合格とし、不可は不合格とする。なお、他大学等で修得した単位を本学で認定した場合は認定（T）とする。
>
> 4　授業形態、科目の特性などにより、前項の成績評価が困難なものについては、合格（P）、不合格（NP）とする。

・本学ではすべての科目において成績評価方法、割合及び評価基準をシラバスで明示している。シラバスで明示した方法により成績評価を行い、秀・優・良・可の成績評価の場合は合格とし、単位を認定している。
・成績評価の基準は履修要覧に以下のように記載し、学生に示している。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100~90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89~80 点（優れた成績）	3
	良	C:79~70 点（良好な成績）	2
	可	D:69~60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T:学則に則り、単位の認定がされた場合	－

また、授業形態、科目の特性などにより、 5 段階評価（秀・優・良・可・不可）の成績評価が困難なものについては、次の表のとおりとする。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	合格	P :単位を与える条件を満たしたもの	0
不合格	不合格	NP :単位を与える条件を満たさなかったもの	0

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

・本学では GPA 制度を導入している。履修した科目の成績評価をグレード・ポイント（GP） に置き換え算出する。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100~90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89~80 点（優れた成績）	3
	良	C:79~70 点（良好な成績）	2
	可	D:69~60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0

・算出方法は以下の数式により行う。

$$\mathrm{GPA} = \frac{\text{履修登録した全科目の[単位数} \times \mathrm{GP}\text{]の合計}}{\text{履修登録した全科目の単位数の合計}}$$

GPA の算出にあたっては、小数点第 2 位までとし、割り切れない場合は、小数点第 3 位を四捨五入する。

・対象科目は、卒業要件に算入でき、5 段階評価（秀・優・良・可・不可）または失格で成績を判定された科目を対象とする。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/outline/gpa.php

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・本学では「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」を大学全体及び各学部で定めている。 【大学全体】 岐阜聖徳学園大学は、建学の精神にのっとり、主体的に考え、行動し、社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士の学位を授与します。 ・人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連付けて理解することができる。（基礎教養） ・専門分野における高度な知識・技能を身に付け、状況に応じて適切に活用することができる。（専門的知識） ・多様な他者や文化に真摯に向き合い、相互理解に向けて主体的にコミュニケーションをとることができる。（他者理解） ・専門分野における国内外の多様な諸問題に幅広く関心をもち、問題解決に向けて他者と連携・協働し、専門性を発揮することができる。（地域・社会貢献） ・自立した職業人・社会人としての使命感と責任感をもち、自ら継続的に知識の習得と研鑽に努めることができる。（自己形成・自己啓発） ・いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度） 【教育学部】 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（教育）の学位を授与します。 １　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） ２　専攻する各教科に関する専門的知識と能力を身に付け、児童生徒の実態に合わせて創造的な学習指導方法を探求することができる。（教科教育） ３　生徒指導・教育相談、学級経営などを、子ども理解に基づき、他の教員等と協調・協同して実践できる。（子ども理解） ４　学校教育と学校を取り巻く現代社会の諸問題に関心をもち、問題解決のために情報を収集・分析・整理することができる。（学校と社会） ５　教育者、保育者等の専門的職業人としての使命感・責任感をもち、自ら学び求める姿勢をもって自己形成を目指すことができる。（自己形成） ６　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【外国語学部】
外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成
目標に到達した者に学士（外国語）の学位を授与します。
1　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
2　言語体系としての英語を正しく理解し、文学作品を通して多様な表現を理解することができる。（言語・文学）
3　さまざまな国際的な場において適切なコミュニケーションをとることができる。（コミュニケーション能力）
4　世界各国の文化と、異文化間・国家間の関係について幅広く理解することができる。（異文化・国際理解）
5　言語・異文化・国際事情に関する知識とコミュニケーション技能を、国際的な舞台において、または中学校・高等学校等において活用することができる。（実務・英語教育）
6　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【経済情報学部】
経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、情報分野の知識、技術を身に付け、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（経済学）の学位を授与します。
1　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
2　経済、情報の専門知識を修得し、経済および情報のグローバル化にかかわる多様な諸問題に対応する知識や、地域社会に貢献する知識を身に付けることができる。（社会事情に対応する応用力）
3　変化する国内外の社会にかかわる諸問題に関心を持ち、その本質を理解することを心掛け、情報の収集・分析をすることができる。（情報収集・分析に関する力）
4　各自の関心に即した高度な専門知識を修得する基礎を築くことができる。（基礎力・創造的思考力）
5　社会人としてのコミュニケーション能力を身につけることができる。（コミュニケーション能力）
6　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【看護学部】
看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（看護学）の学位を授与します。
1　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
2　自分と他者に対して素直に向き合い、寛容の心をもって相互関係を築くことができる。（他者理解・コミュニケーション能力）
3　専門的知識や技術を統合・汎用し、科学的根拠に基づいて多様な人々に対して柔軟かつ創造的に看護を実践することができる。（専門的知識・発展）
4　対象の最善の利益を追求する同一目的集団であることを常に認識し、保健・医療・福祉・教育・行政等の多職種と連携・協働し、地域社会に貢献できる。（地域・社会貢献）
5　看護に対する情熱や使命感と国際的視野をもち、自立した看護専門職として継続的に自己研鑽できる。（国際理解・自己形成・自己啓発）
6　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

・本学では学則第 22 条において「本学に 4 年以上在学し、第 14 条、第 15 条、第 16 条及び第 17 条の規定により所定の単位を修得した者は、学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。」としている。原則として 2 月に開催する各学部教授会において、後期修得科目をもって所定の単位（合計 128 単位）を修得した者に対し卒業判定会議を行い、承認された者に対して学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/outline/pub-info.php

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人　聖徳学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/business-report/
収支計算書又は損益計算書	学園ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/business-report/
財産目録	学園ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/business-report/
事業報告書	学園ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/business-report/
監事による監査報告（書）	学園ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.jp/business-report/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　　　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　　　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/outline/self-inspect.php

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：平成 29（2017）年３月、公益財団法人大学基準協会において大学評価基準に適合していると認定を受ける。認定期間は令和６（2024 年）３月 31 日まで。認証評価の結果については大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/data/outline/kekka2015.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　教育学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.php）
（概要） 建学の精神にのっとり、教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育教員の養成を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/201704_ed_dp.pdf）
（概要） 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（教育）の学位を授与します。 １　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） ２　専攻する各教科に関する専門的知識と能力を身に付け、児童生徒の実態に合わせて創造的な学習指導方法を探求することができる。（教科教育） ３　生徒指導・教育相談、学級経営などを、子ども理解に基づき、他の教員等と協調・協同して実践できる。（子ども理解） ４　学校教育と学校を取り巻く現代社会の諸問題に関心をもち、問題解決のために情報を収集・分析・整理することができる。（学校と社会） ５　教育者、保育者等の専門的職業人としての使命感・責任感をもち、自ら学び求める姿勢をもって自己形成を目指すことができる。（自己形成） ６　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/201704_ed_CP.pdf）
（概要） 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 １　建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 ２　１、２年次には、大学教育への導入のための「基礎セミナー」、基礎的な学力を養うための教養基礎科目を開講し、現代社会の諸問題ならびに教育の問題の理解を図ります。 ３　実践的指導力に優れた教員等の養成を目指し、国語、社会、数学、理科、音楽、体育、英語、保育、特別支援教育、学校心理の各専修の専門性を生かしつつ、初等教育と中等教育を統合して学ぶことのできるカリキュラムを編成します。 ４　教科科目は、教師力の養成を主眼として、各専修の基礎となる学問の体系に基づき、精選した内容で開講します。３年次には「専門演習」、４年次には「卒業研究」を必修で開講し、専門的な知識・技能を深め、児童生徒の実態に合わせた総合的な学習指導を探求できるように導きます。 ５　子ども理解・教職理解のために、「学校ふれあい体験」、「教育実践観察」等の体験型の科目を導入し、早くから子どもや学校現場に触れる機会を設け、学校教育と学校を取り巻く社会の諸問題に関心をもち、問題解決に取り組めるように計らいます。

６　１年次から、教職の意義、指導法、生徒指導等を学ぶための教職科目、実践的な教師力の養成ならびに専門の学芸を教授するための教科科目を開設し、教員集団の一員として協働できるよう実践カリキュラムを実施します。 以上のカリキュラムを通じて、教育者、保育者等の専門的職業人がもつべき知識と技能、思考力、判断力、表現力、豊かな人間性を育みます。 これらの学修成果の評価として、本学が推進するクリスタルプランに基づき、１年次から４年次にわたる共通の１３視座を設け、自己評価することで、自己形成のステップアップを跡づけます。学習到達度のチェックにおいては GPA を活用します。３年次終了時には、卒業研究を履修するための修得単位数のチェックを行います。卒業研究については、ルーブリックを活用して評価します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2020_ed_AP.pdf）
（概要） 　教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 １　求める人物像 ・将来を担う子どもたちを育てていこうという強い意欲を持つ人 ・基礎学力（知識・技能）を備え、自らの思考・判断を積極的に表現できる人 ・多様な価値観を受容しつつ、他者との協働のもとで主体的に物事に取り組む姿勢・態度を備えた人 ２　大学入学までに身につけてほしいこと ・確かな学習習慣及び社会への広い関心 ・志望する専修に関係の深い学習や活動に幅広く取り組む姿勢 ３．入学者選抜方法 〔一般選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔総合型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接・グループディスカッション等により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔一般選抜 大学入学共通テストプラス〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストにより「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体 性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

学部等名　外国語学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.php）
（概要） 建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2020_fl_DP.pdf）
（概要） 外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（外国語）の学位を授与します。 １　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） ２　言語体系としての英語を正しく理解し、文学作品を通して多様な表現を理解することができる。（言語・文学） ３　さまざまな国際的な場において適切なコミュニケーションをとることができる。（コミュニケーション能力） ４　世界各国の文化と、異文化間・国家間の関係について幅広く理解することができる。 （異文化・国際理解） ５　言語・異文化・国際事情に関する知識とコミュニケーション技能を、国際的な舞台において、または中学校・高等学校等において活用することができる。（実務・英語教育） ６　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2021_fl_CP.pdf）
（概要） 外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 １　建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 ２　英語の基本技能（読む・書く・聴く・話す）を習得し、語学力・コミュニケーション能力を高めるために習熟度別少人数クラスを編成します。 ３　幅広い教養を身に付け自信を持って国際社会に出るために、外国事情や異文化研究などのコンテンツをすべて英語で学ぶ授業を開講します。 ４　多方面で活躍できる国際人になるために、IT 技術、日本語教授法、実用中国語などを習得できる専門科目や、キャリアを意識したキャリア支援科目を開講します。 ５　英語教員として常に「ことば」を意識した学究姿勢を身に付けるために、「第二言語習得論」、「教育英語研究」などの専門科目を開講します。 ６　３年次後期、４年次前後期に卒業研究を必修で開講し、専門的な知識・技能を深めます。 以上のカリキュラムを通じて、多彩で質の高い国際社会で活躍できる人材、国際言語としての英語の機能をよく理解した視野の広い教員を育成します。 これらの学修成果は、英語 Can-Do リストによる基本技能の自己評価、卒業要件科目の評価による累計 GPA、３年次終了時に４年次「卒業研究Ⅱ・Ⅲ」を履修するための最低修得単位数、TOEIC テストのスコア、卒業研究の評価ルーブリックにより評価します。 さらに、英語教員を希望する学生は、中学校・高等学校教育実習履修要件による評価も行います。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2020_fl_AP.pdf)
（概要） 外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 １　求める人物像 ・英語をはじめとする外国語に関心を持ち、その学修に意欲を持つ人 ・国際的視野に立って企業で活躍したい人 ・英語教員になることを志望する人 ・自文化に対する深い知識を基盤にして、異文化の多様な価値観が理解できるようになりたい人 ２　大学入学までに身につけてほしいこと ・高等学校の各教科に関する基礎的・基本的な知識と技能 ・基礎的な知識・技能に基づき、自分の考えをまとめ、他者に伝えるための思考力、判断力、表現力 ・真摯に勉学に取り組む姿勢と、学内外の様々な活動において人と協働できる態度 ３．入学者選抜方法 〔一般選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔総合型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、面接・プレゼンテーション・ディスカッション等により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、面接（口頭試問含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

学部等名　経済情報学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.php)
（概要） 建学の精神にのっとり、社会で役立つ実践的な経済、経営、情報分野の教育を行い、主体性・企画力・コミュニケーション能力等に富んだ有能な人材の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/201704_ei_dp.pdf)

（概要）
経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、情報分野の知識、技術を身に付け、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（経済学）の学位を授与します。

１　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）

２　経済、情報の専門知識を修得し、経済および情報のグローバル化にかかわる多様な諸問題に対応する知識や、地域社会に貢献する知識を身に付けることができる。（社会事情に対応する応用力）

３　変化する国内外の社会にかかわる諸問題に関心を持ち、その本質を理解することを心掛け、情報の収集・分析をすることができる。（情報収集・分析に関する力）

４　各自の関心に即した高度な専門知識を修得する基礎を築くことができる。（基礎力・創造的思考力）

５　社会人としてのコミュニケーション能力を身につけることができる。（コミュニケーション能力）

６　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。
http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2021_ei_CP.pdf）

（概要）
経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、情報の幅広い知識、技術を身に付け、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。

１　建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。

２　教養基礎科目では、幅広い知識、柔軟性のある思考力を身につけ、「共に支え合い創造し未来を切り拓く力」を養います。

３　１、２年次には少人数クラスの「基礎セミナー」（必修）を開講し、１年次では大学での学びの導入、また大学生活に慣れることや友人とのコミュニケーションする機会を設けます。２年次ではプレゼンテーション能力を養います。

４　２、３年次に「キャリアデザイン」を開講し、２年次ではキャリア形成への意識向上を図ります。さらに、３年次では課題解決能力の向上や就職活動への実践的知識と技術を身につけます。

５　３、４年次にゼミ形式で学ぶ「専門演習」（必修）、「卒業研究」を開講し、専門分野での問題発見・解決能力・創造的思考力を養い、コミュニケーション能力を高めます。

６　「経済」の科目では「経済の基礎」の科目を配置し、経済の基礎を固める科目を提供します。また「経済の分析」、「経済の考え方」の科目を配置し、経済の専門を学ぶ科目を開講します。

「経営」の科目では、企業のマネジメントについて学ぶ科目を開講します。「情報」の科目では情報の基礎からプログラミングや情報システムについて学ぶ科目を開講します。

さらに、最新の経済・情報などの学際領域について学ぶ科目を開講します。

以上のカリキュラムを通じて、学生各人が思い描く将来像を実現し、社会貢献し、実社会の発展に尽くすことができる人材を育成することを目標としています。

これらの学修成果は、カリキュラムマップに基づく科目の修得単位数、学年末の修得単位数および GPA、３・４年次に「専門演習」を履修するための最低修得単位数により評価します。

また、学生各人が、学修成果アンケートを用いて自己評価することで学びを深化させます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2020_ei_AP.pdf）
（概要） 　経済情報学部は、建学の精神にのっとり、経済、情報の幅広い知識、技術を身につけ、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 １　求める人物像 〔知識・技能〕 ・経済情報学部で学修するために必要な日本語（国語）や数学の基礎学力を備えている人 ・高等学校在学中に簿記・情報・英語などの能力試験に挑戦し、大学でもその能力を伸ばす努力を惜しまない人 〔思考力・判断力・表現力〕 ・好奇心にあふれ、物事や状況に対して適切な判断をし、さまざまな見方や考え方ができる人 ・地域や社会における経済に関心があり、さまざまな人の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人 〔主体性・多様性・協働性〕 ・経済、経営、情報の分野に関心があり、そのスキルを主体的に身につける意欲がある人 ・大学生活を通してキャリア形成に努め、実社会の発展のために尽くそうという気持ちを持った活力ある人 ・高校生活を通じ、生徒会活動やクラブ活動等に積極的に参加するなど、他者と協働する能力を備えている人 ２　大学入学までに身につけてほしいこと ・さまざまな見方や考え方をするための基になる、高等学校で学ぶ教科全般に関する知識や技能 ・自分の考えを論理的に相手に伝えるための、文章や口頭による基本的な表現力 ・社会への関心を幅広く持ち、意欲的に探究し、協働する姿勢 ３．入学者選抜方法 〔一般選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔総合型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接・プレゼンテーション等により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、面接（口頭試問含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

学部等名　看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.php）
（概要） 建学の精神にのっとり、社会の要請に応じて、心の教育を基盤とした、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材を養成することを目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2021_nu_DP.pdf）
（概要） 看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（看護学）の学位を授与します。 １　人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） ２　自分と他者に対して素直に向き合い、寛容の心をもって相互関係を築くことができる。（他者理解・コミュニケーション能力） ３　専門的知識や技術を統合・汎用し、科学的根拠に基づいて多様な人々に対して柔軟かつ創造的に看護を実践することができる。（専門的知識・発展） ４　対象の最善の利益を追求する同一目的集団であることを常に認識し、保健・医療・福祉・教育・行政等の多職種と連携・協働し、地域社会に貢献できる。（地域・社会貢献） ５　看護に対する情熱や使命感と国際的視野をもち、自立した看護専門職として継続的に自己研鑽できる。（国際理解・自己形成・自己啓発） ６　いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/201704_nu_CP.pdf）
（概要） 看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 １　建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 ２　多様な人々との交流から、柔軟なコミュニケーション能力を養うために、学部の枠を越えて学び合う教養基礎科目や、学年を越えて学び合う「SPP 技術演習」、「SPP 技術指導演習」を専門科目に配置します。 ３　人間を深く理解し、多様な看護の対象に柔軟に対応するために、「生涯発達論」、「臨床心理学」、「コミュニケーション論」、「日本手話」、「クリニカルコミュニケーション」、「特別支援教育・看護合同演習」等の専門基礎科目や専門科目を配置します。 ４　専門的知識や技術を統合・汎用し、対象に応じて看護を創造的に実践できるために、「解剖生理学」、「病態治療学」等の学習をベースに、「東洋医学」、「代替補完療法」の専門基礎科目や、応用発展できるように、「救急看護」、「災害看護」を専門科目に配置します。 ５　地域社会に貢献できる能力を育成するために、「ボランティア活動」を専門基礎科目に配置します。また、退院後地域と連携した看護ができるように、「多職種連携論」、「退院支援論」、「継続看護実習」等を専門科目に配置します。 ６　国際的な視野をもち、将来にむけて看護を探求・発展させていくことができるように、「看護管理論」、「国際看護論」、「看護教育論」、「卒業研究」の科目を配置します。

以上のカリキュラムを通じて、看護専門職として社会に貢献できる人材を育成します。
これらの学修成果は、２年次以降の各看護学実習に出る前提条件として事前に指定された科目の単位修得状況により評価します。看護の特徴として科目は積み上げ方式であり、４年次前期の「統合看護実習」では、各領域実習すべての単位修得を履修要件として評価します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。
http://www.shotoku.ac.jp/images/outline/polisy_archive/2020_nu_AP.pdf）

（概要）
看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。
１　求める人物像
・他者を尊重しながら積極的に関わり、協調性のある人
・看護の専門的知識・技能を学ぶ基礎学力を持つ人
・論理的な思考力・判断力・表現力の基礎が備わっている人
・日々進歩する医療に対応するために、常に学び続け、課題探求のできる人
・建学の精神を理解し社会に貢献することを喜びとする人
・主体的に学習・生活・健康などの自己管理ができる人
２　大学入学までに身につけてほしいこと
・予習・復習の学習習慣
・勉学に取り組むための基礎的体力、集中力、忍耐力
・基礎的な知識・技能に基づき、自分の考えをまとめ、他者に伝えるための思考力、判断力、表現力
・社会に関心を持ち、学内外の様々な活動において人と礼儀正しく協働できる態度
３．入学者選抜方法
〔一般選抜〕
調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。
〔総合型選抜〕
出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接・ディスカッションにより「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。
〔学校推薦型選抜〕
出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。
〔大学入学共通テスト利用選抜〕
調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。
〔一般選抜 大学入学共通テストプラス〕
調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストにより「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。
〔特別選抜〕
出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。
http://www.shotoku.ac.jp/outline/pub-info.php

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	2 人	－					2 人
教育学部	－	41 人	20 人	11 人	0 人	0 人	72 人
外国語学部	－	8 人	7 人	5 人	0 人	0 人	20 人
経済情報学部	－	14 人	8 人	0 人	0 人	0 人	22 人
看護学部	－	7 人	4 人	6 人	9 人	3 人	29 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
2 人	143 人	145 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.acoffice.jp/gsghp/KgApp

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

本学では、教育の質的向上を図ることを目的としてＦＤ活動を推進している。
ＦＤ活動は、大学全体と各学部・研究科の２つに分かれており、大学全体のＦＤ活動は全学部に共通する内容を、各学部・研究科のＦＤ活動は、各学部・研究科に特化した内容を取り扱っている。
全学部で行う主なＦＤ活動は次のとおりである。
・専任教員による全学ＦＤサロン
・学外講師による全学ＦＤ研修会
・専任教員による教育改革等事業助成報告会（研究発表）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
教育学部	330 人	370 人	112%	1320 人	1472 人	112%	-人	0 人
外国語学部	150 人	125 人	83%	600 人	583 人	97%	-人	0 人
経済情報学部	150 人	156 人	104%	600 人	648 人	108%	-人	0 人
看護学部	80 人	91 人	114%	320 人	370 人	116%	-人	0 人
合計	710 人	742 人	105%	2840 人	3073 人	108%	-人	0 人

（備考）
編入学の受入人員は、各学部とも欠員の場合のみ若干名。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
教育学部	377 人（100%）	9 人（2.4%）	359 人（95.2%）	9 人（2.4%）
外国語学部	106 人（100%）	5 人（4.7%）	93 人（87.7%）	8 人（7.6%）
経済情報学部	146 人（100%）	0 人（0%）	140 人（95.9%）	6 人（4.1%）
看護学部	85 人（100%）	0 人（0%）	84 人（98.8%）	1 人（1.2%）
合計	714 人（100%）	14 人（2%）	676 人（94.7%）	24 人（3.3%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
＜教育学部＞
【教員】（公）岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、静岡県、長野県、石川県、富山県、福井県、東京都、神奈川県、千葉県、兵庫県、高知県
【幼稚園教諭】（公）岐阜市幼稚園（私）揖斐幼稚園　ほか
【保育職】（公）多治見市、可児市、一宮市
【公務員】（国家）国税専門官（地方）〈行政〉岐阜県、半田市〈警察〉愛知県〈消防〉名古屋市、豊田市
【企業】(株)スリーボンド、グローリー(株)、コダマ樹脂工業(株)、昭和コンクリート工業(株)、住友生命保険相互会社、福田刃物工業(株)　ほか
＜外国語学部＞
【企業】東海澱粉(株)、岐阜信用金庫、(株)バローホールディングス、NOVA ホールディングス（株）、セブン工業（株）、酒井重工業（株）、（株）市川工務店、協和医科器械（株）、西濃運輸（株）、（株）創味食品、ぎふ農業協同組合、生活協同組合コープぎふ、（株）日新、浜松磐田信用金庫、岐阜トヨペット（株）、西濃運輸（株）、（株）オンダ製作所、サンラリーグループ、AT グループ　ほか
【公務員】（地方）〈行政〉大垣市、下呂市、富加町〈警察〉岐阜県
【教員】（公）岐阜県、愛知県、三重県、神奈川県
＜経済情報学部＞
【企業】株式会社第一コンピュータリソース、富士ソフト株式会社、かんぽ生命保険株式会社、ダイドー株式会社、ぎふ農業協同組合、つばめグループ、アイシン精機株式会社、ゲンキー株式会社、セブン工業株式会社、ダイドー株式会社、ネッツトヨタ岐阜株式会社、愛知トヨタ自動車株式会社、株式会社エイジェック、株式会社伊藤園、関信用金庫、静岡トヨタ自動車株式会社、中西電機工業株式会社、東建コーポレーション株式会社、文化シヤッター株式会社、米津物産株式会社　ほか
【公務員】（警察官）愛知県、岐阜県（消防士）岐阜市
【教員】（公）岐阜県
＜看護学部＞
【病院】岐阜市民病院、大垣市民病院、岐阜県総合医療センター、岐阜大学医学部附属病院、春日井市民病院、小牧市民病院、一宮市立市民病院、名古屋医療センター、名古屋市立大学病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋第一赤十字病院、名城病院、藤田医科大学病院、藤田ばんたね病院、岐阜赤十字病院、東海中央病院、協立総合病院、江南厚生病院、金沢医療センター　ほか
【保健師】本巣市、山県市、美濃市、名古屋市、津幡町
【養護教諭】岐阜県

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	393 人 （100%）	369 人 （93.9%）	5 人 （1.3%）	7 人 （1.8%）	12 人 （3.1%）
外国語学部	132 人 （100%）	102 人 （77.3%）	6 人 （4.5%）	19 人 （14.4%）	5 人 （3.8%）
経済情報学部	168 人 （100%）	143 人 （85.1%）	12 人 （7.1%）	11 人 （6.5%）	2 人 （1.2%）
看護学部	100 人 （100%）	70 人 （70.0%）	13 人 （13.0%）	12 人 （12.0%）	5 人 （5.0%）
合計	793 人 （100%）	684 人 （86.3%）	36 人 （4.5%）	49 人 （6.2%）	24 人 （3.0%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
・本学のシラバスは例年前年度の１月から各授業担当者に作成を依頼し、２月中旬までに作成する。２月中旬から各学部教務委員会によるシラバスチェックを実施し、必要に応じて改善の指示等を行い、３月下旬に Web システムにて公開する。
・本学では全学共通の「シラバス作成ガイドライン」を作成し、各学部教授会で周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
・単位の認定については学則第 21 条に定めている。

> 第６章 単位の認定、卒業認定及び学位の授与
> 第 21 条 授業科目を履修し、単位修得の認定を受けた者には所定の単位を与える。
> ２ 授業科目の単位修得の認定は、試験成績若しくは平常の学習成績、又は両者を総合して担当教員が行う。
> ３ 成績評価は、秀（Ａ：100～90 点）、優（Ｂ：89～80 点）、良（Ｃ：79～70 点）、可（Ｄ：69～60 点）、不可（Ｆ：60 点未満）の５段階をもって表し、可以上を合格とし、不可　は不合格とする。なお、他大学等で修得した単位を本学で認定した場合は認定（Ｔ）とする。
> ４ 授業形態、科目の特性などにより、前項の成績評価が困難なものについては、合格（Ｐ）、不合格（ＮＰ）とする。

・本学では全ての科目において成績評価方法、割合及び評価基準をシラバスで明示している。シラバスで明示した方法により成績評価を行い、秀・優・良・可の成績評価の場合は合格とし、単位を認定している。
・成績評価の基準は履修要覧に以下のように記載し、学生に示している。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100~90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89~80 点（優れた成績）	3
	良	C:79~70 点（良好な成績）	2
	可	D:69~60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T:学則に則り、単位の認定がされた場合	—

・また、授業形態、科目の特性などにより、 5 段階評価（秀・優・良・可・不可）の成績評価が困難なものについては、次の表のとおりとする。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	合格	P :単位を与える条件を満たしたもの	0
不合格	不合格	NP :単位を与える条件を満たさなかったもの	0

・本学では学則第 22 条において「本学に４年以上在学し、第 14 条、第 15 条、第 16 条及び第 17 条の規定により所定の単位を修得した者は、学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。」としている。原則として 2 月に開催する各学部教授会において、後期修得科目をもって所定の単位（合計 128 単位）を修得した者に対し卒業判定会議を行い、承認された者に対して学長が卒業を認定する。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
教育学部	学校教育課程	128 単位	有・無	単位
外国語学部	外国語学科	128 単位	有・無	単位
経済情報学部	経済情報学科	128 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	128 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：特になし		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：資格取得状況について大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/careers/qualification.php		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。http://www.shotoku.ac.jp/student-life/campus/index.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
教育学部	学校教育課程	700,000 円	300,000 円	360,000 円	教育充実費
外国語学部	外国語学科	700,000 円	300,000 円	360,000 円	同上
経済情報学部	経済情報学科	700,000 円	300,000 円	360,000 円	同上
看護学部	看護学科	900,000 円	300,000 円	700,000 円	教育充実費、実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

【奨学金関係】

名称：課外活動奨励奨学金（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 免除）
内容：学費全額（4 年間）・授業料全額（4 年間）・授業料半額（4 年間）
対象：入学前および入学後の課外活動において優れた才能を発揮し、全国大会レベルの競技会等において特に顕著な成績を修めた者。さらに、その能力・技術の向上を勉学と両立させ、他の学生の規範となりうると本学が認めた者

名称：学生外国留学奨学金 給付
内容：留学先の授業料相当額を給付（上限あり）、航空運賃一部助成（派遣留学より選考）
対象：派遣・認定留学により、留学する学生（学部教授会で決定した人数）

名称：海外研修奨学金（看護学部 給付）
内容：200,000 円
対象：「海外研修」を受講する学生（人数制限あり）

名称：被災学生支援奨学金（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 免除）
内容：入学者選抜検定料・入学金（免除）
対象：災害救助法適用地域の指定を受けた被災地域の受験者・入学者

名称：被災学生支援奨学金（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 給付）
内容：審査の上、金額決定（給付）
対象：災害により重大な被害を受け日常生活に支障をきたしている学生（入学者含む）

名称：スカラシップ（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 免除）
内容：学費全額（4 年間）・授業料全額（4 年間）・授業料半額（4 年間）
対象：一般選抜 A 日程・B 日程・大学入学児湯通テスト利用選抜（前期日程）合格者のうち成績上位者

名称：Yawaragi 方式奨学金（外国語学部・経済情報学部・看護学部 免除）
内容：授業料半額（4 年間）
対象：Yawaragi 方式入学者

名称：指定校制奨学金（経済情報学部 給付）
内容：300,000 円（入学年度のみ）
対象：学校推薦型選抜（指定校制推薦方式入学者）

名称：課外活動特別奨学金（外国語学部・経済情報学部 給付）
内容：300,000 円（入学年度のみ）
対象：学校推薦型選抜（課外活動特別推薦方式入学者）

名称：特別選抜奨学金（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 給付減免）
内容：350,000 円（年額）（前期・後期の学納金納付時に減免する方法にて給付）
対象：特別選抜（岐阜県離職者等訓練選考は除く。）で入学する外国人正規留学生及び社会人学生

名称：公益財団法人 広田奨学会選奨生奨学金 給付
内容：50,000 円/月（採用時より卒業時までの最短修学期間<継続審査あり>）
対象：経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められる学生

名称：公益財団法人 岐阜杉山記念財団奨学金 給付
内容：120,000 円（当該年度）令和元年度実績
対象：経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められる学生
　　　保護者の住所が岐阜県内にある学生
名称：一般財団法人 本願寺派教学助成財団奨学金 給付
内容：100,000 円（当該年度）令和元年度実績
対象：経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀な学生で、浄土真宗本願寺派の発展に寄与しようとする寺院子弟ならびに門徒子弟

名称：日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金（無利息）貸与
内容：自宅通学 20,000 円/月・30,000 円/月・40,000 円/月・54,000 円/月
　　　自宅外通学 20,000 円/月・30,000 円/月・40,000 円/月・50,000 円/月・64,000 円/月
対象：経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められ、心身ともに健全な学生

名称：日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金（利息付）貸与
内容：20,000 円/月～120,000 円/月（10,000 円単位で選択）
対象：経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められ、心身ともに健全な学生。
　　　※返還利息は卒業後年 3%以内

名称：高等教育の修学支援制度（教育学部・外国語学部・経済情報学部・看護学部 減免・給付）
内容：授業料等減免上限額
　　　入学金：260,000 円、授業料：700,000 円（年額）
　　　給付型奨学金上限額
　　　自宅通学：38,300 円（※42,500 円）（月額）
　　　自宅外通学：75,800 円（月額）
　　　※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人の金額
対象：住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生

【障害学生の支援関係】
・「岐阜聖徳学園大学における障害学生支援に関する指針（ガイドライン）」を定め、障害のある学生、その家族及びその他の関係者からの合理的配慮に関する相談窓口として学生支援センターを設置している。
・学生支援センターは、障害の有無にかかわらず、全ての学生が等しい条件のもとで学生生活が送れるように支援するとともに、学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的としている。

【障害学生支援室関係】
・障がい学生支援室は、障害のある学生の相談窓口として、障害のある学生が平等公平な修学環境を得られるよう支援の充実を図っている。また、入学を希望する学生への情報提供及び相談対応の上、受験上の配慮に関する業務を行う。
・障害のある学生の教育的ニーズを把握し、障害学生支援に係る関係部局及び学外機関等との連絡調整を行う。
・学生サポーターの募集、養成及び支援組織運営管理を行う。
・施設・設備のバリアフリー化に関する業務を行う。

【学生相談室関係】
・学生相談室は、学生個人の心理的な諸問題についてのカウンセリングを行い、学生生活を有意義かつ健康に送れるよう支援の充実を図ることを目的としている。
・学生個人の修学、その他の日常生活における心理的な諸問題についてのカウンセリングを行う。
・業務に必要な資料の収集及び整理保存を行う。

【ハラスメント関係】
　基本的人権尊重の精神に則り、ハラスメントのない快適な環境において、修学・教育研究・就業する権利を保障するため、ハラスメント全般の防止啓発に取り組んでいる。
ハラスメントの具体的な相談については、ハラスメント相談員を配置して面談のほか、手紙、電話、電子メール等で受け付ける。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
【就職関係】
【教員採用試験対策支援】
教員経験者による講義や教員採用試験対策講座をはじめ、教員採用試験の面接官を招いた講義や論作文対策など、教員採用試験合格に向けて様々な支援を行っている。
（講座等の内容）
・教員採用選考試験対策（一般教養・教職教養・専門・直前対策）
・教員採用選考試験 2 次対策（模擬面接、実技、集団討論、模擬授業等）
・教員採用選考模擬試験（3 年次 12 月・3 月、4 年次 4 月）
・集団面接・個人面接対策
・願書、論作文添削指導
・各県市教員採用選考試験説明会

【公務員試験対策支援】
筆記や面接などの公務員試験対策講座を開講し、支援を行っている。
（講座等の内容）
・公務員試験対策講座（筆記：8 月・1〜3 月、各種面接・集団討論：4〜9 月）
・公務員内定者報告会

【企業就職対策支援】
3 年次生から、実際の就職活動に向けたカリキュラム、各種講座を開講。
また、3 年次生後期及び 4 年次生前期にゼミ別に学生、教員、就職課職員との三者面談を行い、就職活動状況を把握しながら適切な支援に努めている。

（講座等の内容）
・キャリアセミナー（授業科目）
・インターンシップ（授業科目）
・企業就職特別講座（自己分析編・業界研究編）
・就職合宿
・就職対策講座（志望動機作成講座・グループディスカッション講座・面接対策講座・業界研究セミナーなど）
・学内企業説明会
・資格取得講座（ＦＰ技能士、ＭＯＳ、ＴＯＥＩＣ、日商簿記、秘書検定）

【看護師等国家試験対策支援】
1 年次生から模試及び解説講座を行い、知識を定着させる。
また、学生を中心とした「看護師国家試験対策学生委員会」を組織し、勉強会の開催や国家試験対策への学生の要望を取り入れる等の取り組みを行う。3 年次生から、学生個々の目標を把握しながら、求人情報の提供や就職に関する助言、履歴書添削、面接指導等を教員と協力し支援を行っている。

（講座等の内容）
看護師・保健師国家試験ガイダンス
看護師・保健師国家試験（模試・講座等）

【進学関係】
大学院進学、他大学への編入学などを希望する学生に対して、資料取り寄せから入学者選抜試験対策に至るまで支援を行っている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 【学生の心身の健康、保健衛生及び安全関係】 ・保健室は、学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的としている。 ・学生の健康診断、健康相談、保健指導及び救急処置を行っている。 ・環境衛生検査を実施し、感染症の予防に取り組んでいる。 ・健康診断票、学生健康管理カードの作成や保管を行っている。 ・保健に関する統計・調査等の資料作成を行っている。 ・学生傷害保険・付帯賠償責任保険に関する業務を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。
http://www.shotoku.ac.jp/outline/pub-info.php

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F121310106052
学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人 聖徳学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		194人	185人	201人
内訳	第Ⅰ区分	109人	108人	
	第Ⅱ区分	60人	52人	
	第Ⅲ区分	25人	25人	
家計急変による支援対象者（年間）				–
合計（年間）				201人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	−		
修得単位数が標準単位数の５割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	−		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	−		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	−	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	−
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人		
ＧＰＡ等が下位４分の１	43人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	43人		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。